



大津町地域おこし協力隊 2024-2025 年度 活動報告 & 計画

What is 地域おこし協力隊？

地域おこし協力隊は、都市部から地方に移住し、地域の課題解決や活性化に取り組む制度で、総務省が2009年に開始。各自治体が観光振興、農業支援、空き家活用、伝統文化の継承など、地域のニーズに応じた分野で人材を募集しています。大津町では2024年、まちの価値や魅力を整理し、戦略的に発信する「シティプロモーション」分野の隊員を募集しました。任期は3年です。

振り返りとこれから



地域おこし協力隊
広報 PR コーディネーター
藤 友里江（とう ゆりえ）

2024年4月から地域おこし協力隊として活動を始め、インターン期間を含めると、もうすぐ1年半が経とうとしています。
SNSでの取材を通して、町のさまざまな風景や人々に出会うことができました。そうした出会いを、これからはSNSだけでなく、実際に人と人が交流するイベントへ、そして単発ではなく、持続的に人が行き交うプロジェクトへとつなげていきたいと思っています。
これまでは基本的に役場からの発信が中心でしたが、今後はもっとマチナカに出て、いろんな方と直接お話ししたいです。
これからの目標は「連携のつなぎ手」になること。
「これやりたいなら、あの場所に行ってみては？」「この人に相談してみたら？」と、地域の中で人と人、想いと場所をつなげるコーディネーターのような存在を目指していきます。



Instagram
フォローお願いします！

大津町 総合政策課 情報政策係（役場 3F）
TEL 096-293-3118
メール ocp@town.ozu.kumamoto.jp

2025 大津町地域おこし協力隊 & ゲストトーク

地域 ^(と) 働く
わたしたち

2025.6.29

1 伝われ！ 町のパワー



今年の4月20日で200歳！この機会を逃さぬよう、役場や顕彰会と連携しながら企画を進めています。中高生も参加し、盛り上げてくれました。アニバーサリー企画はこれからも続きます！



夫婦で造花の保存会に入会。
3か国語リーフレットを作って、
大津町の独自の文化を町内外
に発信しています。

梅の造花

SNSは週に1回以上更新！企画・
撮影・編集すべて手作り。町の
情報はマスコミなどにも発信し
て、各種メディアで紹介も。

Instagram
Facebook
プレスリリース

大津町を掘る！！

「機会を逃さず」「届けたい人に
届く」「関係作りのきっかけと
なる」広報を目指して役場職員
と考えています。

職員研修の企画
広報の戦略

からいも

からいもの栽培から出荷
までを通年で密着取材。
動画配信や、時期を見て
マスコミなどのメディア
に向けてもPR。



2 対話の 場づくり



©Hachiware Film 福谷祥吾



Let's おおづ DANCE

実施レポート



大津でつながる
アートな日常

文化ホール
事業運営委員会

「アート」を通して、立場を超え
た対等な関係づくりを目指してい
ます。やわらかな発想で、新たな
発見も！町の皆さんが積極的に関
わって作られている文化ホール事
業にも携わっています。



連携のつながりに

協力隊は、行政や地域の枠にとらわれず、柔軟に動ける立場として、
団体同士の橋渡しや、新たなつながりづくりに取り組むことができます。
町にすでにある魅力や活動を見つめ直し、結び直すことで、
当たり前と思われていた価値を、次の世代や必要とする人へ届けていきま
す。
「ないものをつくる」のではなく、「あるものをいかす」。
そんな視点で、大津町の豊かさをさらに広げていきます。

3